

市民のひろば ～明るく 元気な いわき市を目指して～

レポート②19

7月の第62回NHK杯全国高校放送コンテスト「ラジオドキュメント部門」で優勝し、10月に市民栄誉賞を受賞した磐城高校放送委員会の佐藤涼さんに、受賞作品への思いや優勝の喜びなどについて、インタビューした内容をお伝えします。



佐藤涼さん（磐城高校2年生）

Q 受賞作品のタイトルと内容について、お聞かせください。

磐城高校には市内の高校で唯一応援団があり、四月に新入生全員で応援練習を行うことが伝統行事となっています。

これを題材に「試練の先に」というタイトルで、五人の応援団員が新入生三百二十人に対して、校歌や生徒会歌などを指導する三日間に密着した、ラジオドキュメントを制作しました。

Q この作品には、どのような思いが込められていますか。

この応援練習には、全力で指導する応援団と、戸惑いながらも一生懸命に取り組む新入生の姿があります。応援練習によって成長していく新入生を通して、諦めないことの大切さ、そして応援練習にかける応援団

の思いを伝えたいと考えました。
Q 作品を制作する過程で、印象に残っていることは何ですか。

取材で大切にしていたのが、応援団とのコミュニケーションでした。練習中は、応援団の熱意に負けないくらい私たちも全力で取材し、練習後には差し入れをするなど、徐々に打ち解け、インタビューもスムーズにできるようになりました。

また、編集作業に悩んでいるとき、ふと「校歌の応援練習でやり直しさせられた回数を数えてみよう」と思い付きました。そこで、先輩と二人で数えてみると、驚きの百二十九回で、最後まで歌うことができていたのは、たったの二回でした。

とても驚いたのと同時に、頑張った新入生と応援団の思いを伝えるた



昨年のテレビドキュメント部門に続き5年連続日本一の喜びを5本の指で表現

め、私ももっと頑張らなければと思った瞬間でもありました。
Q 優勝が決まった時の感想はいかがでしたか。

全国大会で優勝できるとは全く考えずに、作品を制作してきたので、結果にはとても驚きました。顧問の先生をはじめ、先輩や応援団、新入生、この他にも多くの方々に支えられたからこそ得られたものだと思っています。皆さんに感謝しています。

Q 今後はどのような作品を制作したいと思いますか。

来年のNHK杯に向けては、テレビドキュメント作品にチャレンジしたいと考えています。

笑いあり、涙ありで、見る人に感動を与えられるような、そんな作品を作りたいと思っています。



委員会メンバーで指摘し合いながら技術を磨くアナウンス練習

いわきの五十年を振り返る

交差点（小川町高萩）

左の二枚の写真は、昭和三十年代終わりと今を比較した通学風景です。今では死語と化していますが、かつて「交通戦争」



昔の小川町高萩交差点（昭和30年代終わりと今 国府田英二氏提供）



今の小川町高萩交差点（平成27年9月 いわき市撮影）

という言葉がありました。明治時代に起こった「日清戦争」の犠牲者数と同じくらいの人々が、一年間に交通事故で亡くなったという衝撃的な報道がされたのは、昭和三十六（一九六一）年

のこと。新聞やテレビは、毎日のように交通事故を報じていました。

交通事故から子どもたちを守るため、警察署の努力だけでなく、市町村も交通指導員制度を設け、あるい

いわき市は来年十月に、市制施行五十周年を迎えます。本市のこれまでの歩みを、市内各所の過去と現在の写真を比較し、エピソードを交えながら振り返ります。

は保護者なども旗を振って、朝夕の登下校時間に通学路の安全を確保するようになりました。

さて、この交差点の写真ではもう一つ、比較対照をしています。商店と駐車場の関係です。かつて交差点には必ず商店がありました。が、駐車場はほとんどありませんでした。

しかし「クルマ社会」となって、商店に駐車場は、必須の立地条件となりました。今の写真には、コンビニに広い駐車場が整備されています。

（いわき地域学会

小宅幸一）

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課（☎22・7503）までご連絡ください。

10月19日(月)の市役所本庁舎、各支所・市民サービスセンターでの放射線量測定値

庁舎・支所	平(本庁)	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久浜・大久
地上1m	0.101	0.036	0.044	0.059	0.046	0.051	0.054	0.058	0.055	0.075	0.067	0.068	0.125
市民サービスセンター	中央台	豊間	泉	測定時刻：10時 単位：マイクロシーベルト/時 出典：原子力規制委員会ホームページより モニタリングポストは、マイクログレイ/時で測定されていますが、本表では1マイクログレイ/時=1マイクロシーベルト/時と換算して表示しています。 ※久之浜・大久支所は、改築工事のため、当面、久之浜西公園での測定値を掲載します。									
地上1m	0.074	0.103	0.055										

※過去における測定値、平成22年度の市内の状況については、0.04～0.07マイクロシーベルト/時で推移していました。（福島県ホームページより）

水道水の放射性物質の測定結果 水道局では、市内全12浄水場の水道水を週3回（法田第一ポンプ場・旅人浄水場・上遠野浄水場は週1回）検査しています。現在の検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウムとも、全て不検出（1ベクレル/kg未満）であり、安心して飲んでいただけます。

放射線に関する問い合わせ窓口（県設置窓口） ☎0120-988-359 平日：8時30分～18時30分 土日祝：8時30分～16時